

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 農業技術センター普及指導部									
要望問題名 施設キュウリ栽培における購入苗利用技術の向上										
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 施設キュウリ栽培では、育苗作業の省力化や施設の有効利用のため、セル成形苗やアースストレート苗などの購入苗の導入が増加している。現在、約半数の農家が購入苗を使用している。しかし、購入苗は慣行苗に比べ活着と初期生育が遅いため、初期収量は少ない。そこで、初期生育促進のための管理方法について、栽培方法の確立をお願いしたい。 また、購入苗の価格が高いことから、購入苗数を少なくするため、2から3本仕立てとしている事例が多い。抑制栽培と半促成栽培では、適正な栽植株数や栽植配置などの群落構造が異なることから、摘心栽培の場合の単位面積当たりの栽植株数、主枝・側枝本数及び配置について作型別の適正な方法を比較検討をお願いしたい。 (参考) <table border="1"><thead><tr><th></th><th>栽培面積</th><th>栽培者</th></tr></thead><tbody><tr><td>平塚市 半促成</td><td>15ha</td><td>40名</td></tr><tr><td>抑制</td><td>23</td><td>51</td></tr></tbody></table> ※出典は生産出荷近代化計画			栽培面積	栽培者	平塚市 半促成	15ha	40名	抑制	23	51
	栽培面積	栽培者								
平塚市 半促成	15ha	40名								
抑制	23	51								
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内									
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター									
備考										

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 野菜類の高品質・安定生産技術の開発 野菜類の栽培法の確立		
対応の内容等	購入苗の利用農家が増え、購入苗に合った肥培管理や低コストを目的とした仕立て法の検討が必要であるという現場の状況を踏まえて、対応が必要と考えています。平成27年度から2本仕立て法が収量等に及ぼす影響について試験を行っていますので、この課題の中で購入苗利用に合った仕立て法を検討するとともに、初期生育遅延の問題については現場調査に協力いただきながら対策を検討します。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			